



美馬ロータリークラブ週報

Mima RC Weekly Report

国際ロータリー2670地区 例会場：森友 毎週火曜日19:00~20:00

出席報告

会員数	会場出席	ZOOM	欠席	メーキャップ	修正合計	出席率
26	20		6	0	20	76.9%

2024-2025年度 第4回 3クラブ合同例会プログラム

開会点鐘 18時 四つのテスト／我らの生業

会長の時間／幹事報告／委員会報告／卓話／スマイルボックス発表

会長の時間

脇町 RC 河合会長



こんばんは。脇町 RC 第61代会長河合純治です。本日は3クラブ合同例会を初めて開催させていただくことになりました。予定者段階で松浦会長、松端会長に打診させていただき快く快諾いただきまして感謝しております。初めての開催ですのでいろいろと不行き届きな点もあると思いますがロータリーの寛容の心でお許しください。時間も限られておりますのでこれで私からの挨拶とさせていただきます。

美馬 RC 松浦会長



3クラブ合同例会、主管いただいた脇町 RC の皆様大変お世話になりました。3クラブ合同の例会は初めてということでこの機会にクラブ間の親睦を深めたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

阿波池田 RC 松端会長



こんばんは。第 56 代会長の松端です。河合会長をはじめ脇町 RC の皆様、設営ありがとうございます。そして夏見ガバナー、ようこそ西阿波地区へ。うだつの町並み、祖谷溪谷をはじめ見どころたくさんの風光明媚なところですが、しかし会員数の減少どころか人口減少で猿や猪、鹿の方が多くなるかもしれません。今年度我がクラブも初めて女性会員が入会しロータリーのマジックを使って頑張っていきたいと思っています。初めての3クラブ合同例会で親睦が深まることを期待しております。本日はよろしくお願いいたします。

幹事報告

- ・ 3クラブ合同例会で移動例会と本日はなっておりますので改めて到着週報など回覧は次回例会にします。
- ・ 次週 7月30日の例会は休会といたします。

委員会報告

特にありません

卓話（ガバナー公式訪問）

夏見ガバナー



暑い日が続いております。何とか頑張って徳島第Ⅰ分區を回りました。各クラブそれぞれ特徴があります。私が今までお会いした方にまた会えるのも各クラブを回っていてありがたいことの一つです。美馬 RC の青木会員も地区の財団に長く出向していただき私がクラブの会長、ガバナー補佐のとき財団についてお話しさせていただいておりますが、だんだんわかってきました。その節はありがとうございました。短期交換留学生など青少年奉仕でお世話になりました脇町 RC の古川さんにもお世話になりました。今回は私の時間を 30 分いただいております。よろしくおねがいます。

今社会がどう変わっているかという（RI 会長のビデオメッセージ）これは本人の声ではありません。AI が話しています。現実かどうかわからないものが多くあります。ロータリーでの話も zoom でも sns で実際集まらなくてももいいともいえます。ある合同例会でトヨタのトヨタイズムを伝える部署の方がお話しするのを聞く機会がありました。トヨタという会社はとにかく無駄を省く、効率を良くしていきましょうという話でした。そう考えるとロータリーは無駄の塊です。しかし無駄は本当に必要ないか、というところでもないと思います。

本日は「今さらながら会員減少と神山まるごと高専」「自己紹介と長山富郎さんのお話し」「佐々木禎子さんの話」「久遠の平和と青少年に夢を」をお話しさせていただきます。

2670 地区は 5 年間で 250 人会員減少し 8.08% の減少率です。この計算でいくと 2043 年には 2000 人を割り込むこととなります。将来をある程度イメージしていかないと駄目だと思います。これはロータリーだけではなく徳島県においても人口減少が問題になっています。じゃあ何をしましょう、ということなんです。

例えば「神山まるごと高専」これは素晴らしい試みです。日本を田舎からステキに変えるという考えをミ

ッションとして頑張っています。芸術に頑張って企業からお金を集めて授業料ゼロで素晴らしい授業をしています。都会ではなく田舎という無駄とゆとりのある空間があってこそその学校だと思います。そこから人が増えていく、素晴らしい事だと思います。

長瀬富郎さんは26歳でRCに入会し、花王石鹸の社長です。その人の話ですが、今のロータリーは依然と比較して組織として成熟してきたことで良い事も悪い事もあります。ロータリーの心とは何か、「思いやりの精神」だと思いますがその学び方が昔と違ってきました。今は文献がたくさんあり、そこから観念として学びます。昔は先輩との交わりの中で学んできました。知識として学ぶことでその内容が形骸化してきたように思われます。私自身その話を聞き、そうだと思います。今は情報量が多く学びやすくはあります。しかし実際に会って話を聞くことは話の内容だけではなく様々なところから影響を受けることができます。数字や情報だけでは得られないものがあります。ロータリーの親睦というのはやはり大切なものだと思います。

私は戦後混乱期から時間がたつたいい時代に生まれてきました。戦後の影響もあまり受けず暖かい時代を過ごしました。当時はテレビが普及し始め漫画番組をよく見ていました。高度経済成長のいい時代でした。どの時代を生きてきたかで価値観が違ってきます。先日短期交換留学生といっしょに広島に行き原爆資料館を訪れました。見ているとやはり酷いものも多く胸が苦しくなってきました。足早に進むと暗い中で浮かんでくるものを見つけました。それは千羽鶴で、それをつるしている箱でした。それは佐々木禎子さんが折った千羽鶴で、原爆で被爆して入院中、千羽鶴を折ると願いが叶うと信じ折ったものです。私が自由に遊んでいたころ、丸亀と広島というそう遠くない場所でこのような人がいることは思ってもみないことでした。佐々木禎子さんは亡くなりました。私自身の考えを思い直すものでした。

ロータリーの精神は思いやりの心、寛容の心を持つことです。お互いの思いやりの心をもって助け合うことです。ポリオワクチン一つでも誰かを助けることができるかもしれません。コンビニのレジの横の寄付金箱に寄付することでもいいです、みんなが少しいいことをする社会を目指していくことです。「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に夢なき者に成功なし。」と吉田松陰は言われています。だからこそ青少年に夢をということは大事です。ロータリーの夢は「久遠の平和」であり、ロータリーの理想とはお互いの思いやりをもつこと（奉仕の理想）です。ロータリーは次世代を担う青少年に行動計画の中でロータリーの精神を伝えることが大きな役割です。

そして大事なことは行動することです。やはり奉仕は行動が伴ってこそ初めて奉仕だと思います。ロータリーの価値は何によって計れるか、クラブの大きさではない、クラブの収入の多さでもない、そのクラブがいかなる人をつくったかによってクラブの価値を計れると思います。

「一燈照隅、万燈照国」「一燈照隅、万燈遍照」一つの灯火では隅しか照らせないが、その灯火が万という数になると国中を照らすことができる、しかし天下国家を論じるよりも、まず自分のいる場所を明るく照らせる人間になりましょう。一人一人が平和の心を持つと世界が平和になる。もう一度原点に戻りましょう。今の自分がまず動き出しましょう。

小さなクラブでも地域に根差し開かれた連携と協同のロータリー活動を行うことで幸福度が増します。青少年が平和で輝ける世界を作るため行動していくことが私たちの意義だと思います。



スマイルボックスの発表

夏目ガバナー

大平ガバナー補佐

次回例会

8月6日（火） 19時～ 場所 季節料理森友

※次週は休会となります。お気を付けください。